

中空知定住自立圏共生ビジョン(原案)の概要をお知らせします

都市圏への人口流出を食い止めるため、中空知圏域5市5町(芦別市、滝川市、砂川市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町)が連携協力し、取り組みを進めている「定住自立圏構想」の概要や今後の取り組みなどについては、広報あしべつ7月号でお知らせしていますが、現在、中心市である滝川市及び砂川市において、生活機能確保の役割を担う民間や地域の関係者などで構成される「中空知定住自立圏共生ビジョン懇談会」を組織し、圏域の目指す将来像や今後5年間の具体的な連携事業などを盛り込む「中空知定住自立圏共生ビジョン」の策定作業を行っており、このたび原案がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

圏域の将来像

圏域全体で人口定住のために必要な生活機能を確保するため、自立のための経済基盤を培い、地域の活性化を図る観点から、圏域の将来像を定めるものです。

- 医療や福祉体制の確保、教育環境や子育て環境の充実、適正な廃棄物処理、安全安心な消費生活環境や防災体制の確保など、すべての地域住民が住み慣れた地域で暮らし続けることができる圏域づくりを目指します。
- 地域資源を生かした特産品等のブランド化と圏域内外への販路拡大、さらには、広域観光による誘客促進を図り、雇用の創出とあわせて、地域経済の振興を目指します。
- 圏域内外を結ぶ交通ネットワークの維持・確保や生活幹線道路の整備等により、日常の買い物から福祉・医療、学習・文化活動や観光産業など、交流人口の拡大や圏域への人の流入を促進し、潤いと賑わいのある地域づくりを目指します。

具体的取組

～将来像の実現に向けて、5市5町が連携して推進する取り組みを定めるものです

区 分	取 組 内 容	
生活機能の強化に係る政策分野	医 療	○救急医療の維持確保事業(在宅当番医制運営事業、病院群輪番制運営事業、小児救急医療体制支援事業) ○圏域医療体制の充実
	福 祉	○障がい者福祉の推進(障がい児通所支援事業、地域活動支援センター事業及び相談支援事業) ○保育所広域入所事業
	教 育	○学校教育の充実(言語治療教室通級事業、学校適応指導事業)
	産業振興	○鳥獣被害防止対策の推進(鳥獣被害防止対策事業) ○地域資源を活用した農商工・観光振興(観光・物産・交流事業) ○雇用・就業支援対策の推進(雇用・就業支援対策事業)
	環 境	○廃棄物処理施設等の広域利用の推進 ○消費生活(消費生活の広域対応)
	防 災	○広域防災体制の連携推進
結びつきやネットワークの強化に係る分野	地域公共交通	○多様な公共交通の確保(多様な生活交通路線の確保)
	道路等の交通インフラの整備	○生活幹線道路の整備(地域を結ぶ道路ネットワークの構築及び生活幹線道路の整備、冬季の安全な道路交通確保事業)
	交流・移住促進	○交流・移住促進(交流推進、移住・定住促進)
	ICTインフラ整備	○行政システムのネットワーク(電算システムの共同運用)
圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	人材育成	○職員研修及び大学を活用した人材育成(職員研修、大学を活用した人材育成)

滝川市では、今月15日(水)まで、より多くの皆様の意見を広く反映させるため、意見を公募していますので、ご意見、ご提言をお寄せください。なお、本市での中空知定住自立圏共生ビジョン(原案)原本の閲覧場所、提出様式等は下記に記載のとおりです。

今後、同懇談会や中空知圏域にお住まいの方などから提出された意見をビジョン原案に反映し、11月には中空知5市5町の首長で構成される「中空知定住自立圏構想推進会議」で協議・決定し、具体的な事業を進めていきます。

資料の閲覧場所	市役所1階ロビー、市役所3階まちづくり推進係、総合福祉センター、市民会館、総合体育館、図書館、各コミュニティセンター、北日本多目的センター、市ホームページ
提出様式	所定の用紙に記入してください
提出方法	市役所まちづくり推進係へ直接持参するか、市ホームページ、ファクシミリ、電子メール、郵送のいずれかにより提出してください
意見の取り扱い	募集締め切り後、提出意見及びその意見に対する考え方を公表します。なお、住所、氏名については公表しません

●提出先・詳細/まちづくり推進係

〒075-8711 芦別市北1条東1丁目3番地 ファクシミリ=0124-22-9696

電子メール=kikaku@city.ashibetsu.hokkaido.jp 市ホームページアドレス=http://www.ashibetsu.hokkaido.jp